

令和3年度 事業報告

1 総括

〈組織運営・内部管理〉

- 法人全体として、「質の高いサービスの提供」「人材育成と働きがいのある職場づくり」「地域に貢献する施設づくり」「経営の基盤強化・健全化」を目標に掲げ、経営に取り組んだ。
- 令和元年9月に策定した「愛媛県社会福祉事業団中期経営計画」に基づき、法人全体が連携して障がい福祉サービスの総合的展開、優秀な人材の確保等に取り組み、計画の確実な執行に努めたほか、将来の施設運営を見据えて、建物・設備の老朽化等課題を抱える直営施設について建替えの検討を進めるため、職員による検討準備委員会を設置した。
- 社会福祉充実計画に基づき、以下の取組みを実施した。
 - ・ 職員待遇の改善
 - ・ 介護機器の導入
 - ・ 身体障がい児放課後等デイサービス事業の実施
 - ・ パラスポーツ普及体験事業の実施
 - ・ 障がい者芸術文化支援活動の実施
- 全国社会福祉協議会が開発した「福祉職員キャリアパス対応生涯研修」を階層別研修の基礎研修として実施し、職員の資質向上に繋げた。
- 人材の定着と育成を図るため、採用後経験年数の浅い職員の不安を払拭し、仕事のモチベーションアップに繋げるため、採用年度別オンライン懇談会を開催した。
- 新たに職員の自主研究グループ活動に係る助成制度を創設し、職員の職務遂行能力の向上や連帯感の醸成を図った。
- 所属長による全職員を対象としたコミュニケーション面談を定期的に実施し、風通しの良い職場づくりに努めるとともに、協会けんぽと県が共同で実施する「健康づくり推進宣言」事業に参加し、メンタルケアに関する講座を開催するなど、職員の心身の健康づくりに取り組んだ。

〈施設運営・事業部門〉

- 各施設の運営に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う事業の一部休止・縮小等もあったが、収入の確保及び効果的・効率的な事業執行に努め、法人全体として健全かつ安定した経営を維持した。
- 直営施設においては、地域や関係機関との連携の下、利用者一人ひとりの障がい特性及びニーズに即した生活支援や訓練など、質の高いサービスの提供に努めるとともに、就労・自立に向けたきめ細かな相談・支援に取り組んだ。
- 指定管理施設においては、公の施設の設置目的を踏まえ、安心・安全・快適な施設管理に努めるとともに、地域に親しまれる施設を目指し、多様化するニーズに柔軟に対応するなどサービス向上に取り組んだ。
- 公益事業においては、就職や職場定着が困難な障がい者に対するきめ細やかな支援や就労促進に努めたほか、県内のパラアスリートの活動を支援し、東京パラリンピックの出場選手を輩出するなど、パラスポーツを推進するとともに、芸術文化活動を行う障がい者の相談支援や支援人材の育成、作品発表の機会創出に努めたほか、障がい者アート作品の商品化支援にも取り組んだ。

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、顧客や作業受注が減少し工賃が低下した就労支援事業については、(公財)えひめ産業振興財団の支援を受け、県内企業とのマッチングにより、新製品の開発、ブランド化及び販路開拓に取り組んだ。
- 県の委託を受け「愛媛県障がい者虐待防止・権利擁護セミナー」及び「愛媛県障がい者ピアサポート研修」を開催し、県内における障がい福祉従事者の人材育成及び専門性の向上に繋げた。

〈特記事項〉

新型コロナウイルス感染症への対策等として、以下の取組みを実施した。

- 各施設において、国・県の通知やマニュアル等を参照し、職員の感染防止対策及び施設内の衛生管理を徹底するとともに、利用者等への情報提供に努めたほか、集団感染を防ぐための取組み、事業やサービスの制限や見直しなどの対策に役職員一丸となって取り組んだ。
- 新型コロナ下においても、安定的かつ継続的に事業を実施するため、各施設において事業内容や実施方法の工夫・検討を行い、利用者への充実したサービスの提供に努めた。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、指定管理施設等においては、事業を一部休止したことにより、昨年度に引き続き利用者数の減及び減収となった。
特に、障がい者更生センター(道後友輪荘)では、休業期間も含め、宿泊及び宴会利用等の減少により大幅な減収となった。運営費の不足については、松山市の休業補償の活用及び県による減収補填により対応した。
- 障がい者更生センター及びぱれっと道後(花楽里店舗)においては、県の「愛顔の安心飲食店」の認証を受け、オゾン脱臭器の更新や自動水栓工事を実施するなど、感染防止対策の強化を図り、利用者が安心して利用できる環境整備に努めた。
- 県や松山市の補助事業等を活用して、
 - ・直営施設及び母子生活支援センターにおいて、衛生用品や飛沫防止用資材、タブレット端末等を購入した。
 - ・職員及び利用者の自主的なPCR検査等を実施し、感染者の早期発見及び感染拡大防止を図った。
- 安否確認システムの活用により、職員及び家族の健康状況を毎朝確認し、体調不良者の早期確認に努めたほか、昨年度策定した「新型コロナウイルス感染症対応事業継続計画(BCP)」に基づき、感染者発生を想定した机上訓練を実施するなど、職員の注意喚起、リスク管理を徹底した。その成果として、年明けのオミクロン株の流行以降、職員・利用者に感染者が散発したもの、組織として迅速かつ的確に対応することができ、早期の事業再開に結び付けた。

2 法人運営

(1) 理事会の開催

第1回（令和3年6月2日）

- 令和2年度事業報告並びに収支決算について
- 令和3年度収支補正予算について
- 社会福祉充実計画の変更について
- 定時評議員会の招集について
- 評議員選任等委員会の招集について
- 評議員候補者の推薦について

第2回（令和3年6月22日）

- 理事長及び常務理事の選定について
(報告事項)
 - 理事長及び常務理事の職務執行状況報告について

第3回（令和3年9月27日）※決議の省略により実施

- 令和3年度収支補正予算について

第4回（令和4年3月23日）※決議の省略により実施

- 令和3年度収支補正予算について
- 令和4年度事業計画並びに当初予算について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団職員の育児又は家族介護のための休業その他勤務の取扱いに関する規定の一部改正について
- 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団特定職職員給与等支給規程の一部改正について
- 役員等賠償責任保険の契約内容について
- 施設長の選任について
- 評議員選任等委員会委員の選任について
- 評議員会の招集について

(2) 評議員会の開催

第1回（令和3年6月22日）

- 令和2年度収支決算について
- 社会福祉充実計画の変更について
- 役員の選任について
(報告事項)
 - 令和2年度事業報告について
 - 令和3年度収支補正予算について

第2回（令和4年3月30日）※決議の省略により実施

- 理事の選任について
(報告事項)
 - 令和3年度収支補正予算について
 - 令和4年度事業計画並びに当初予算について

(3) 監査

令和3年5月21日 監事監査

3 施設の経営

- 施設数 14 施設 (直営施設 7 施設、指定管理施設等 7 施設)
- 職員数 総合職職員 132 名 特定職職員 61 名 嘴託職員 10 名 (4. 3. 31 現在)
- 施設の定員等

施設区分		サービス／定員
直営施設	しげのぶ清流園	生活介護 55 名 施設入所支援 40 名 短期入所 5 名 放課後等デイサービス 5 名
	しげのぶ清愛園	生活介護 38 名 自立訓練 6 名 就労移行支援 6 名 就労継続支援 (B型) 20 名 施設入所支援 40 名 短期入所 5 名 共同生活援助 18 名 障害児タイムケア 10 名
	道後ゆう	施設入所 40 名 生活介護 35 名 自立訓練 15 名 就労移行支援 10 名 就労定着支援 4 名
	ほほえみ工房ぱれっと道後	就労継続支援 (B型) 40 名
	どうご清友寮	共同生活援助 37 名
	福祉工房いだい清風園	生活介護 40 名 就労継続支援 (B型) 15 名 施設入所支援 50 名
指定管理施設等	ほほえみ特定相談支援事業所	—
	愛媛県立愛媛母子生活支援センター	20 世帯
	愛媛県身体障がい者福祉センター	—
	愛媛県障がい者更生センター (道後友輪荘)	(宿泊) 45 名
	愛媛県視聴覚福祉センター	—
	えひめ障がい者就業・生活支援センター	—
	愛媛県障がい者スポーツ協会事務局	—
	愛媛県障がい者アートサポートセンター	—

【直営施設】

しげのぶ清流園

利用者が明るく、楽しく、生きがいを持ち、安心して過ごすことができるよう、感染症対策の徹底を図ったうえで、工夫を凝らした事業を展開し、魅力ある施設づくりに努めた。

また、特別支援学校等との情報共有をより密に行うとともに、利用者ニーズに対応し、放課後等デイサービスの更なる充実に努めた。

- 言語聴覚士及び作業療法士を法人内他施設に派遣し、当該施設利用者の嚥下訓練や機能回復訓練を実施することで、法人全体における訓練機能の強化に努めた。
- 移動用走行リフト及び電動ベッドを複数台導入し、安心・安全で快適なサービスの提供とノーリフトケアの推進に努めた。
- 通所サービスにおいては年末に開所日を増やしたほか、放課後等デイサービスにおいては夏休み等の長期休業中に送迎サービスを実施するなど、利用者及び家族のニーズに即したより質の高いサービスの提供に努めた。
- 相談支援専門員や特別支援学校等と情報交換を密に行い、通所サービス利用者及び放課後等デイサービス利用者の確保及び増加に繋げた。
- 新型コロナ下において活動が制限されるなか、新たにスポーツを楽しむ会や花火大会等を企画するとともに、月1回ユニットごとに趣向を凝らしたお楽しみ会を開催するなど、日中活動の充実に努めた。
- 精神障がい等に関する事例に対応するための検討会を実施し、職員全体で課題を共有するとともに、支援方法の統一化と支援技術の向上を図った。

1 年間行事

(1) 定例行事

連絡会、日中活動（俳句、音楽療法、映画鑑賞、カラオケ、絵手紙、かご作り、英会話等）
誕生者外出、避難訓練、自治会役員懇談会

(2) 月別行事

月	行事
4月	お花見ドライブ、自治会役員選挙
5月	保護者会総会、スポーツを楽しむ会
6月	ユニット対抗運動会
7月	七夕
8月	夏祭り（花火大会）、夏を楽しむ会（かき氷）、特別支援学校現場実習
9月	敬老会、外出支援（ツインドーム、コンビニ）
10月	ハロウインパーティー、ほほえみスポーツ大会
11月	河原医療福祉専門学校介護福祉実習、外出支援（花卉センター、コンビニ）
12月	愛顔ひろがるえひめの障がい者アート展、クリスマス会
1月	新年会
2月	節分
3月	ひな祭り、拝志保育所交流会

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、一部中止又は変更

2 月別利用者数（月末在籍者、通所者含む）

(1) 生活介護(通所含む)・入所利用者

区分 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
生活介護	47	48	48	47	47	48	48	49	46	46	45	48	47.3人
施設入所支援	41	41	41	41	41	39	40	41	39	39	40	39	40.2人
実契約者数	70	70	70	70	70	68	70	70	68	70	70	72	69.8人

※前年度実績 65.7人

(2) 放課後等デイサービス

区分 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
放課後等デイサービス	2	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4.5人
実契約者数	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15.8人

※前年度実績 2.6人

3 年齢階層別利用者数（令和4年3月31日現在）

(1) 生活介護(通所含む)・入所利用者 平均年齢 48.7歳

年齢	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
男性	11	6	7	10	9	7	50人
女性	5	3	2	4	4	4	22
計	16	9	9	14	13	11	72

(2) 放課後等デイサービス 平均年齢 12.3歳

年齢	6～12歳	13～15歳	16～18歳	計
男性	3	3	1	7人
女性	3	2	3	8
計	6	5	4	15

4 障がい原因別利用者数(令和4年3月31日現在)

(1) 生活介護(通所含む)・入所利用者

区分	脳性麻痺	背髄損傷	頭部外傷	リウマチ	脳血管障害	パーキンソン病	筋ジストロフィイ	その他障がい	計
区分3					1				1人
区分4	1				1			2	4
区分5	1	2			3			10	16
区分6	29		2		1			19	51
計	31	2	2	0	6	0	0	31	72

(2) 放課後等デイサービス

区分	脳性麻痺	背髄損傷	頭部外傷	リウマチ	脳血管障害	パーキンソン病	筋ジストロフィイ	その他	計
重度心身障害児	4	0	0	0	0	0	1	10	15人

しげのぶ清愛園

利用者が安心して充実した生活が送れるよう、年間を通じて感染症対策の徹底を図り、活動方法及び活動エリア等を適宜見直しながら日中活動を行ったほか、趣向を変えた余暇支援を提供する等柔軟かつ効果的な園運営に努めた。

また、特別支援学校等と連携し、見学・体験・実習の受入れを積極的に行い、地域で生活する障がい者や保護者が「安心」と「希望」が持てるよう取り組むとともに、利用者の確保に努めた。

更に、東温市地域生活支援事業として障害児タイムケア事業を継続して実施し、放課後や長期休暇、また、新型コロナウイルスの影響に伴う休校時の受入れを積極的に行った。

- 施設内のＩＣＴ化を促進するため、タブレット端末を各事業に配置し、会議や利用者の健康管理等のペーパーレス化に繋げ、経費削減や業務効率化を図った。

また、オンラインによる小学校の特殊学級との定期的な交流を実施するとともに、面会等も昨年度同様に実施し、利用者及び保護者の安心感の充足に努めた。

更に、通所困難な利用者や自宅待機の利用者には、ＷＥＢでのオンライン授業に参加してもらうなど、新型コロナ下においてもできる限りのサービスの提供に努めた。

- オゾン除菌器を追加導入するとともに、園内でのＢＣＰ訓練を実施し、ゾーニング及び職員の初動体制などの確認を行った。
- 専門業者による移動販売を開催し、外出等が制限される利用者が楽しく買い物できる機会を設け、ストレスの軽減に努めた。
- 高齢の利用者及び強度行動障がい等の重度利用者に対応するため、支援マニュアル及び支援ガイドブックの見直しを行い、より効果的で実践的な支援の充実に努めるとともに、センサーマットや赤外線センサーを導入し、利用者の安全・安心な環境づくりに取り組んだ。
- 就労支援事業においては、新規請負作業を受託するとともに、利用者の能力に応じた作業を提供する等、就労に対する意欲の向上を図った。また、就労移行では、座学等の訓練を積極的に取り入れ、就職を希望する利用者に対し、社会人マナー等に関する講習を行った。
- 危機管理、虐待・事故防止、衛生の委員会を定期的に開催し、危機管理の徹底や事事故例の検証、職場環境の充実等に分担して取り組み、効率的な運営に努めた。また、衛生委員会においては、独自にストレスチェックを全職員に行い、職員のストレスを早期に把握して迅速に対応する等、働きやすい職場環境の整備を行った。
- オンラインによる外部研修等に積極的に参加し、必要な情報をOJTで活用することにより、利用者支援に必要な障がい特性の理解を深める等、職員の資質の向上に努めた。

1 年間行事

(1) 定例行事

朝礼、利用者会・誕生会、健診(内科・精神科・歯科)、身体計測、リクエストメニュー、バイキング(食事)、園内環境整備、避難訓練(園・生活寮)、歯科検診

(2) 月別行事

月	行 事
4月	園内新任職員研修(5日間)
5月	化粧講習会
6月	清愛園スポーツ大会、地域貢献「虫祈祷」、みなら特別支援学校キャリアガイド教室
7月	血液・心電図等諸検査、栄養相談、七夕会

8月	しげのぶ清愛園夏祭り 大掃除
10月	地方祭、ハロウィン・クッキングフェスタ、ほほえみスポーツ大会
11月	地域交流・貢献「地区一斉清掃活動」、インフルエンザ予防接種、小松高校交流会(オンライン)
12月	忘年会・クリスマス会、年末大掃除
1月	地域交流・貢献「どんど焼き・後片付け」、新年会
2月	栄養相談、節分
3月	清愛園劇団公演「かさじぞう」、ひな祭り、お花見

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、一部中止又は変更

2 月別利用者数(月末在籍者、通所者含む)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
施設入所支援		42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42.0人
生活介護		43	44	44	44	44	44	45	46	46	46	46	47	44.9人
自立訓練(生活訓練)		4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	35.6人
就労移行支援		5	5	5	5	5	5	5	4	4	3	2	3	4.3人
就労継続支援B型		22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22.0人
共同生活援助		18	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	17	17.6人
実契約者数		76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	79	76.3人

※前年度実績 74.1人

3 年齢階層別利用者数(通所者含む)

(令和4年3月31日現在) 平均年齢 42.8歳

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
男性	1	9	7	8	10	10	45人
女性	3	6	5	11	9	4	38
計	4	15	12	19	19	14	83

4 就労支援事業

利用者が自立した生活を営むことができるよう、就労の機会の提供を行うとともに、利用者の能力を活かせる作業種目を取り入れ、安心・安全に仕事が行える環境で就労意欲の向上を図り、工賃の向上に努めた。

(1) 就労移行支援事業

ア 洗濯・清掃等作業事業

しげのぶ清流園の洗濯作業、子ども療育センターの清掃受託

イ BDF事業

事業所から出る、てんぷら油の廃油の回収及び運搬、販売

ウマイアクア事業

環境浄化微生物酵素活性剤(えひめAI-2)の製造販売

エ 喫茶事業

障がい者更生センター内の喫茶コーナーの受託(月曜日)

オ 洋裁事業

- 縫製品の製造販売
- カ 就労支援
パソコン基本操作習得、社会生活技術訓練（S S T）、ビジネスマナー訓練、健康管理講習
- (2) 就労継続支援事業（B型）
- ア 園芸事業
花苗の販売や、公共施設等のプランター管理
- イ 農産物事業
薬草、玉葱、季節野菜等の栽培・販売、不知火加工品（ジュース・ぽん酢）の販売
- ウ 水耕野菜事業
青ネギ、フリルレタスの水耕栽培、販売
- エ 軽作業
東温市等からの清掃、除草作業の受託、ほほえみの里内の樹木管理、清掃業務、民間企業からのくしの組み立て及びアメニティグッズの準備等の下請作業の受託
- オ 喫茶事業
障がい者更生センター内の喫茶コーナーの受託（金、土、日曜日）

○ 就労支援事業収入及び利用者工賃の状況

項目	金額(円)	備考
就労移行支援	B D F 事業	15, 880
	マイアクア事業	500
	清掃・洗濯事業	663, 060
	喫茶事業	172, 300
	洋裁事業	13, 750
	計	865, 490
就労継続支援（B型）	園芸事業	719, 860
	農産物事業	1, 075, 275
	水耕野菜事業	572, 147
	軽作業	3, 257, 562
	喫茶事業	619, 300
	計	6, 316, 144
		利用者工賃 543, 177 円（1人平均 15, 088 円/月）
		利用者工賃 4, 338, 465 円（1人平均 16, 433 円/月）

5 障がい児タイムケア事業

東温市に住所を有する障がいのある小中高生を対象に特別支援学校等の下校後及び長期休暇における活動の場を提供するとともに、保護者の就労支援及び障がい児を日常的に介護する家族の一時的な休息の確保に努めた。

○ 月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
延べ人数	63	67	76	60	62	62	70	68	69	59	50	75	65.1 人

※前年度実績 47.5 人

道後ゆう

新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、多機能型の特色を活かし、多職種が連携を図り、利用者個々の障がい特性やニーズに即した専門的なサービスの提供を行い、自立と自己実現に向けた支援を実施した。

- 生活介護事業においては、利用者のニーズに合わせた日中活動や訓練と連携した生活リハビリの充実を図るとともに、利用者と現状の課題等を話し合う場を設け、社会性の向上に繋げた。
また、個々の理解を深めるためにアセスメント様式等を変更し、利用者個々のニーズに沿った計画を作成し、利用者が意欲を持って生活できるよう努めた。
- 自立訓練(機能訓練)では、高次脳機能障がい対策班を中心に個別事例の検討会や外部研修に参加することで専門性を高めるとともに、利用者個々の症状に合わせたリハビリを提供し、利用者が意欲的に訓練に取り組むことができるよう努めた。
また、就労移行支援事業と連携し、資格取得や社会生活プログラム等の訓練を実施した。
- 就労移行支援事業においては、就職に向けた物品の仕分け作業や事務作業等を取り入れ、オンラインでの訓練を行うなどプログラムの充実を図り、利用者の確保に取り組むとともに、企業と利用者が適切にマッチングできるようえひめ就業・生活支援センターと連携し、個別支援計画の検討会議や職場体験を実施することで就職に繋げた。
- 積極的にオンライン研修等に参加したことに加え、施設内研修やOJTの充実を図ることにより、職員のスキルアップ及び利用者サービスの質の向上に努めた。
- 利用者のサークル活動においては、新たにボッチャ活動が加わり、一層の活性化が図られたほか、外部の大会等への参加を通じて社会参加の場を提供することで、利用者の主体性や意欲向上に繋げた。

1 年間行事

(1) 定例行事

避難訓練、ホームルーム、誕生日お茶会、調理講習、訪問歯科診療
体重・血圧測定、集団リハビリ、床上動作訓練、パソコン講座、ジョブトレーニング、園芸
教養講座（色彩絵画、椅子ヨガ、トールペイント、陶芸）、レクリエーション
リラックスタイム

(2) 月別行事

月	行事
4月	青空ランチ
5月	ドライブスルー外出
6月	保護者会
7月	内科検診、ランチで旅気分
8月	松山城南高校施設実習受入れ、夏祭り、花火
9月	お月見会
10月	利用者健康診断、松山東雲女子大学保育実習、ほほえみスポーツ大会
11月	寿司ランチ、松山東雲女子短期大学保育実習、eスポーツカルスマニアフェスタ
12月	クリスマス会、餅つき、ふれあい県民ボッチャ大会
1月	新春絵馬作り、内科検診
3月	レクスポート大会、花見、オンラインeスポーツ大会、歯科検診

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、一部中止又は変更

2 月別利用者数(月末在籍者、通所者含む)

区分 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
就労移行支援	9	11	11	11	10	9	9	11	11	11	11	12	10.5
就労定着支援	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0
生活介護	39	39	39	39	39	39	40	40	39	39	40	40	39.3
機能訓練	15	16	15	14	14	14	11	12	12	12	11	11	13.2
施設入所支援	41	41	41	41	41	41	40	40	39	39	40	41	40.4
実契約者数	66	69	68	67	66	65	63	66	65	65	66	66	66.0

※前年度実績 61.9人

3 年齢階層別利用者数(通所者含む)

(令和4年3月31日現在) 平均年齢 52.6歳

年 齢	～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～	計
男 性	3	3	6	9	9	19	49
女 性	2	5	2	5	1	2	17
計	5	8	8	14	10	21	66

4 障がい原因別利用者数(通所者含む) (令和4年3月31日現在)

区 分	脳 性 麻 瘡	脊 髓 疾 患	脳 血 管 障 害	外 傷 性 疾 患	筋 萎 缩 性 疾 患	そ の 他	精 神 障 が い	知 的 障 が い	計
区分2	0	0	0	0	0	0	0	1	1
区分3	0	0	3	1	0	0	2	1	7
区分4	5	2	2	0	0	2	2	0	13
区分5	6	0	3	1	2	2	3	3	20
区分6	3	1	5	1	0	2	0	0	12
区分なし	0	1	3	3	0	1	3	2	13
計	14	4	16	6	2	7	10	7	66

ほほえみ工房ぱれっと道後

利用者一人ひとりの意思と尊厳を尊重し、障がい特性に応じた就労支援の場を提供することで、知識及び能力の向上を図るとともに、一般就労に向けた支援を行った。

昨年度に引き続き、新型コロナ下において、感染症対策の徹底及び利用者の健康管理に十分に留意し、様々な活動が制限される中でも、社会体験等を行い、利用者の生活が豊かなものになるよう努めた。

また、公用車を1台増車し、利用者の送迎体制の充実や製品の仕入れ、集配などの作業効率化を図り、增收及び工賃の向上に取り組んだ。

○ 就労支援及び職業訓練

(1) 清掃メンテナンス科

感染症対策の徹底を図りながら、法人内他施設の日常清掃やワックス清掃のほか、地域の商店街の清掃や剪定作業等にも積極的に取り組んだ。

(2) クリーニング科

新型コロナの影響を受け、ホテル等の受注が減少したが、新たな軽作業を受注し、利用者の就労意欲、作業意欲の向上に繋げるとともに、工賃の確保に努めた。

(3) 販売サービス科

「コミ花フェ花楽里」では、顧客のニーズに応じたスイーツ・軽食の提供及び花苗等の販売のほか、効果的なPR活動や季節に応じたフェアの実施、地域店舗のパンやキッチンカー、とべ動物園グッズの販売等を企画し、集客に繋げた。

また、(公財)えひめ産業振興財団「チャレンジプラン事業」を活用し、いだい清風園及びしげのぶ清愛園とともに、県産果物を使用した新製品を開発、ブランド化や販路拡大等に取り組んだ。

更に、県の「愛顔の安心飲食店」の認証を受け、利用者が安心して利用できる環境を整備し、利用促進に繋げた。

○ 生活支援

(1) 新型コロナ下において、利用者の余暇活動の充実を図るため、運動教室や文化活動を積極的に実施し、利用者間の親睦を深め、健康増進や心身のリフレッシュを図った。

(2) 嘘託医師による毎月1回の内科検診・カウンセリング等による健康管理を実施した。

○ その他

(1) 新型コロナの影響により、バドミントン交流会や地域住民との交流会は、中止となったが、地域清掃活動やマイロードサポート活動に参加し、地域貢献に努めた。

(2) 職員の意識向上のための研修会（虐待防止・支援のあり方・差別解消に関する研修、経営協主催研修）に積極的に参加し、職員の資質や組織力の向上に努めた。

1 年間行事

(1) 定例行事

内科検診、愛媛大学教育学部運動教室

(2) 月別行事

月	行 事
4月	お花見、視力検査・身体測定、利用者自治会総会
5月	えひめパラスボ記録会(中止)、地域清掃活動
6月	心電図・血液・尿検査、現場実習(学生)
7月	地域清掃活動、夏祭り

8月	夏季インターンシップ(学生)
9月	防火避難訓練
10月	ほほえみスポーツ大会、保護者会役員会、マイロードサポート活動
11月	インフルエンザ予防接種、胸部X線、現場実習(学生)、社会見学(動物園)
12月	道後商店街清掃、社会体験(美術館、松山三越他)、大掃除
1月	文化交流事業(書道体験)、歯科検診
3月	保護者会役員会、マイロードサポート活動、避難訓練

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、一部中止又は変更

2 月別利用者数(月末在籍者)

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
利用者数	39	39	41	41	41	41	41	41	42	42	42	42	41人

※前年度実績 42人

3 年齢階層別利用者数 (令和4年3月31日現在) 平均年齢 45.0歳

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
男性	0	2	3	7	9	1	22人
女性	1	3	0	5	9	2	20人
計	1	5	3	12	18	3	42人

4 就労支援事業収入及び利用者工賃の状況

科別	金額(円)	備考
クリーニング科	2,893,598	テーブルクロス、シーツカバー、浴衣、軽作業ほか
清掃メンテナンス科	4,620,349	日常清掃作業、じゅうたん・ワックス清掃、ハウスクリーニング
販売サービス科	19,606,557	軽食喫茶、スイーツ、県産品、花の販売
計	27,120,504	利用者工賃9,978,429円(1人平均20,329円)

どうご清友寮

(どうご清友寮、わかば生活寮、やよい生活寮、さつき生活寮、のぞみ生活寮、みのり生活寮、ひなた生活寮)

利用者の特性や年齢に応じ、地域で安心して暮らせるよう健康管理に努めつつ就業活動や余暇活動などの相談・支援を提供し、日常生活の安定を図った。

また、利用者交流会を実施することで、健康づくりや地域のことを知る機会を提供し、利用者が地域で充実した生活が送れるよう社会参加の方法・情報提供を行った。

新型コロナウイルスに関する情報提供や注意喚起を行うとともに、日々、利用者の健康状態を確認し、安心して生活が送れるよう支援した。

1 年間行事

月	行 事
毎月	利用者交流会(茶話会・健康づくり・道後温泉と地域の探訪・感染症の注意喚起)
10月	ほほえみスポーツ大会

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、一部中止又は変更

2 月別利用者数(月末在籍者)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
1	どうご清友寮	9	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8.8人
2	わかば生活寮	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3	やよい生活寮1.2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
4	やよい生活寮3.4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	さつき生活寮	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
6	のぞみ生活寮	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
7	みのり生活寮	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8	ひなた生活寮1.2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	計	37	36	36	37	37	37	37	37	37	37	37	37	36.8

※前年度実績 36.8人

3 年齢別階層別利用者数 (令和4年3月31日現在) 平均年齢 49.1 歳

年 齢	~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳~	計
男 性	0	3	2	9	11	2	27人
女 性	0	0	1	3	2	4	10人
計	0	3	3	12	13	6	37人

福祉工房いだい清風園

利用者個々の障がい特性やニーズに沿った日中活動や生産活動を通じて、生きがいづくりや社会参加を推進するとともに、自立に向けた質の高いサービスを提供した。

- 就労継続支援B型事業において、新たに作成したイメージキャラクターを活用し、生産品のイメージ向上に努めた。食品科では、(公財)えひめ産業振興財団「チャレンジプラン事業」を活用し、企業及び法人内他施設と連携してピオーネ果汁を使用した新商品の開発に取り組んだ。
- 木工科においては、レーザー加工機を使用し、地域の幼稚園や中学校等に記念品の作成を行い地域貢献に努めた。
- 生活介護事業においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出・外泊の自粛による利用者のストレス軽減のため、ドーナツ等のキッチンカーや買い物等の移動販売車を利用し、QOLの維持・向上に努めた。
- 施設入所支援においては、利用者の重度高齢化に伴い、これまで以上に体調管理に留意とともに、新型コロナ感染対策のため、手洗い・消毒及びマスク着用の注意喚起を行った。
- 特定建築物定期調査における指摘箇所の修繕を実施し、良好な施設の維持管理に努めた。
- 施設内研修の充実により、職員のスキルアップを図るとともに、各委員会を効率的に運営し支援・介護技術の標準化や連携強化に努め、利用者サービスの向上に繋げた。

1 年間行事

(1) 定例行事

外出支援、外出訓練、カラオケ、書道、園芸活動、音楽療法、季節湯、訪問歯科診療
コーヒー喫茶、散髪支援、血圧・体重測定、防火・防災避難訓練、防犯訓練

(2) 月別行事

月	行 事
4月	お花見
5月	内科検診
6月	男性部屋替え、外出支援（生活）、キッチンカー（ドーナツ）、健康診断
7月	七夕、夕涼み会、コロナワクチン接種
8月	内科検診、大掃除、コロナワクチン接種
9月	歯科検診、かき氷喫茶
10月	秋祭り、月見の夕べ、ほほえみスポーツ大会、伊台小学校交流学習
11月	内科検診、インフルエンザ予防接種 外出支援（生活）
12月	仕事納め、クリスマス会、大掃除
1月	仕事始め 新年会
2月	節分、コロナワクチン接種
3月	女性部屋替え 結核検診、コロナワクチン接種

※新型コロナ感染防止対策のため、一部中止又は変更

2 月別利用者数（月末在籍者、通所者含む）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
施設入所支援		49	50	50	48	49	49	47	47	46	45	48	48	48.0人
生活介護		39	35	40	36	36	37	37	36	36	36	38	36	36.8人
就労継続支援B型		17	16	16	17	17	17	17	17	17	17	16	17	16.8人
実契約者数		56	51	56	53	53	54	54	53	53	53	54	53	53.6人

※前年度実績 55.3人

3 年齢階層別利用者数(通所者含む) (令和4年3月31日現在) 平均年齢 54.9歳

年齢	～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～	合計
男性	1	1	3	5	8	18	36人
女性	1	3	1	2	6	9	22人
計	2	4	4	7	14	27	58人

4 障がい原因別利用者数(通所者含む) (令和4年3月31日現在)

区分	肢体不自由	聴覚言語	知的障がい	精神障がい	(肢体・重複障がい・精神)	計
未判定			2	2	1	5人
区分2						0
区分3	2	2	2	1		7
区分4	6		2	1	5	14
区分5	12	1	2	1	7	23
区分6	5	3	1			9
計	25	6	9	5	13	58

5 就労支援事業収入及び利用者工賃の状況

(1) 就労継続支援B型

製作加工科 部門別	金額(円)	備考
木工部門	1,302,905円	木工注文品等製作
印刷部門	8,571,692円	名刺、ハガキ、封筒及び冊子等印刷
食品部門	1,539,925円	麦ごはんパン、野菜、ぶどう果汁等販売
軽作業部門	439,407円	プラスティック製品組立・解体等、封入作業
計	11,853,929円	利用者工賃3,475,565円 (1人平均17,206円/月)

(2) 生活介護(生産活動)

部門別	金額(円)	備考
木工部門	67,414円	木工注文品等製作
食品部門	144,573円	ハーブ袋詰め
軽作業部門	1,178,720円	プラスティック製品の組立・解体、パンフレット袋入作業、調理消耗品詰め作業
計	1,390,707円	利用者工賃1,390,707円 (1人平均4,360円/月)

ほほえみ特定相談支援事業所

1 計画相談支援・障がい児相談支援

障がいのある方が障害福祉サービスを利用する際に、本人や家族の希望やニーズに沿ったサービス等利用計画を作成するとともに、定期的に事業所を訪問する等してモニタリングを実施した。

また、本人や家族の申し出に応じて家庭訪問等を実施するほか、行政や医療、関係機関等とも連携を強化し、サービスの質の向上に努めた。

更に、法人内施設と連携して、重度障がい者支援や虐待防止、就労支援に関する事例検討を行うとともに、コロナ下においてオンライン研修等を積極的に活用することで、専門職としての知識や技術の向上を図った。

○ サービス等利用計画の作成件数 (件数)

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用計画数	しげのぶ清流園	1	1	0	0	1	3	2	0	0	3	2	1	14
	しげのぶ清愛園	4	2	4	0	1	5	7	6	1	2	2	3	37
	道後ゆう	2	2	1	0	1	0	2	1	2	0	3	1	15
	どうご清友寮	2	1	2	0	0	0	0	1	0	0	1	3	10
	ぱれっと道後	4	1	1	2	3	0	5	0	5	5	1	0	27
	いだい清風園	3	0	4	0	4	5	0	0	0	0	0	0	16
	事業団外	2	5	10	4	5	7	3	6	4	7	5	2	60
	障がい児	1	0	2	0	2	0	0	1	0	1	10	0	17
計		19	12	24	6	17	20	19	15	12	18	24	10	196

○ モニタリングの利用者数 (件数)

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
モニタリング数	しげのぶ清流園	4	1	6	4	4	14	3	2	6	4	4	14	66
	しげのぶ清愛園	22	10	11	8	13	19	20	9	9	8	13	17	159
	道後ゆう	4	2	6	6	4	5	3	2	6	7	5	5	55
	どうご清友寮	2	2	7	12	4	3	2	3	7	12	4	4	62
	ぱれっと道後	4	4	5	6	6	4	5	3	7	4	4	4	56
	いだい清風園	7	1	10	9	8	11	6	1	7	9	8	9	86
	事業団外	12	12	18	10	16	12	10	9	18	8	13	10	148
	障がい児	0	2	5	4	3	0	0	2	3	5	3	0	27
計		55	34	68	59	58	68	49	31	63	57	54	63	659

2 基本相談支援

地域社会において課題となっている障がい者福祉に関する様々な相談に応じ、必要な情報提供と助言及び総合的な関係機関との連絡調整を行った。

○ 基本相談利用者件数 (件数)

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談受付	62	49	41	32	40	33	31	46	64	80	79	58	615	
訪問相談受付	18	10	23	26	13	16	15	18	30	24	28	36	257	
計	80	59	64	58	53	49	46	64	94	104	107	94	872	

【指定管理施設等】

愛媛県立愛媛母子生活支援センター

様々な事情で物心ともに不安定な状況にある入居母子を支え、安心・安全な生活の場を提供する中で経済的・精神的安定を目指せるよう、職員間の連携や外部機関も含めたチームでの生活全般にわたる支援、助言、相談活動を積極的に行った。特に、入所者に係る情報を電子データで共有を図ることで速やかな連携が可能となり、サービスの質の向上につながった。

なお、令和3年度に入所した6世帯のうち5世帯はDVからの避難世帯であり、警察など関係機関との連携を図るなど安全確保に努めた。また、措置元と利用者の面談をオンラインで実施することで、迅速な対応が可能となった。

昨年度に引き続きコロナ禍の中、児童については臨時休園や休校、母親についても子の休園等による勤務時間の減少に伴う収入減など、入所者を取り巻く環境は不安定であり、施設運営においても、行事等をやむなく延期又は中止せざるを得ない時期もあったものの、感染状況等をみながら実施可能な方法を検討した。このため、全体が集まる行事は見送り、世帯別の入れ替え制での参加型行事、誕生祝等物品支給型の行事を実施した。

設備面においては、県の委託により、外壁タイル等全面打診等調査を実施したほか、各居室に設置しているエアコンに不具合等が多発していたため、節電や換気等の機能向上を考慮し、全室更新した。また、駐輪場への自転車ラック取り付け、集会室のカーテンの取替を更新し、入所者の利用環境整備を図った。過年度より発生していたシロアリについては、新たな発生は見られないものの、引き続き防除及び定期点検を実施した。

1 年間行事

(1) 定例行事

(全体) 定例会（お知らせ個別配布）・避難訓練・母親行事・親子行事・誕生祝行事

(児童) 子ども定例会・ぽかぽかクラブ・子ども会

(2) 月別行事

月	行 事
5月	母親行事（母の日プレゼント配布）
6月	子ども会（得点ゲーム）
7月	親子行事（道後村めぐり）、血液検査
8月	児童個別対応（夏休み）、子ども会（映画、花火）、前期健康診断
9月	母親行事（カタログギフト配布）、ほほえみスポーツ大会（予選）
10月	ハロウィン行事（お菓子配布）、インフルエンザ予防接種
11月	日帰り旅行（四国水族館）
12月	クリスマス会、子ども会（ふれあい県民ボッチャ大会）、利用者アンケート
1月	母親行事（友輪マッサージ）、子ども会（おもちまるめ）
2月	親子行事（いちご狩りごっこ）、後期健康診断

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、一部中止又は変更

2 月別入居者数(月末在籍者)

区分		月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	月平均 ※入・退居者 数は合計
在籍者	世帯数	8	6	6	7	7	7	7	7	9	9	9	10	7.7	
	在籍者数	24	16	16	17	17	17	17	17	22	22	22	26	19.4人	
入居者	世帯数	1	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	1	6	
	在籍者数	3	0	0	4	0	0	0	0	5	0	0	4	16人	
退居者	世帯数	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	在籍者数	0	8	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	11人	

※ 前年度実績(月平均世帯数) 7.5 世帯

※〃(月平均在籍者数) 22.1人

3 年齢別入居者数(母親)

(令和4年3月31日現在) 平均年齢 37.2歳

年齢	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~55歳	計
人員	1	0	3	1	4	1	0	10人

4 年齢別入居者数(児童等)

(令和4年3月31日現在)

年齢	0~2歳	3~5歳	6~8歳	9~11歳	12~15歳	16~18歳	計
男子	1	3	1	3	0	1	9人
女子	2	2	1	1	1	0	7
計	3	5	2	4	1	1	16

愛媛県身体障がい者福祉センター

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、昨年度、県により整備された感染症対策用具等を活用するなど感染防止対策を徹底したうえで事業を実施したが、長期の事業休止や利用制限などにより、例年に比べ3分の1程度の利用実績となった。

新たな取組みとして、「地域の防災力向上のための取り組み強化」を目的に、日赤愛媛支部の協力により、職員と地域住民との合同で救急法の講習会を実施した。

また、例年実施している法人内施設利用者を対象とした「ほほえみスポーツ大会」では、競技種目に「e スポーツ」を取り入れ、各施設での分散開催やオンライン対戦など感染予防に対応した新たな方法で実施した。

なお、県に要望していた体育館のフローリング部分の修繕が完了し、床板の剥離等による負傷の危険性が軽減されるなど、より安全に利用できる環境を整備した。

1 相談業務

医療、機能回復訓練、生活、スポーツ等についての相談に応じ助言、指導を行った。

・月別相談件数

月区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医療等相談	11	4	8	7	1	5	0	1	4	4	1	10	56件
一般相談 (生活、スポーツ等)	4	2	1	0	0	2	2	1	1	1	1	0	15
計	15	6	9	7	1	7	2	2	5	5	2	10	71

※前年度実績 82件

2 診察業務

整形外科、耳鼻科医師による診察、医療相談を実施し、医学的立場から適切な助言を行った。

・月別診察、相談件数

月区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
整形外科	3	0	0	3	0		0	1	0	0	0	1	8件
耳鼻科	21	18	21	13	27	13	29	22	18	10	6	21	219
計	24	18	21	16	27	13	29	23	18	10	6	22	227

※前年度実績 245件

3 機能訓練業務

身体に障がいのある人々に対し、理学療法・作業療法を実施し、身体機能の維持、改善を図った。

・月別利用者数（延べ）

月区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
集団健康体操	67		275	268	166		210	214	208	54			1,462人
個別訓練	0		3	4	2		0	3	6	0			18
身体機能測定	0		1	0	0		0	0	2	0			3
リハビリレク リエーション	21		63	65	14		49	59	55	6			332
屋外歩行訓練	0		179	99	0		0	66	61	0			405
計	88		521	436	182		259	342	332	60			2,220

※前年度実績 3,370人

4 スポーツ等の指導・訓練業務

(1) スポーツ教室

ア 初級スポーツ教室

実施月	実施種目	回数	人数
令和3年4月	マウンテンボッチャ	1	10
	卓球	1	14
5月	中止		
6月	ダブルディスク	4	31
	卓球	4	77
7月	クロッケービンゴ	3	17
	卓球	3	52
8月	トラっちや	1	7
	卓球	1	15
9月	中止		
10月	トリコロキューブ	2	11
	卓球	4	75
11月	クロッケービンゴ	3	14
	卓球	4	82
12月	ダブルディスク	2	10
	卓球	3	62
令和4年1月	中止		
	卓球	1	15
2月	中止		
3月	中止		
計		37	492

※前年度実績 863人 (57回)

(2) 体験イベント

実施日	実施内容	対象	人数
令和3年 6月 16日	レクボッチャ	視覚	14
令和3年 10月 27日	フライングディスク	視覚	10
計		24	

※前年度実績 34人 (2回)

イ 上級スポーツ教室

実施日	実施種目	人数
令和3年 7月 16日	卓球	13
令和3年 9月 17日	中止(卓球)	
令和3年 9月 18日	中止(フライングディスク)	
令和3年 10月 15日	卓球	12
令和3年 10月 16日	フライングディスク	14
令和3年 12月 3日	卓球	16
計		55

※前年度実績 90人 (6回)

(3) センタースポーツ大会

実施日	実施内容	対象	人数
令和3年 7月 19日	カローリング	3障がい	35
令和3年 11月 6日	ディスクゴルフ	3障がい	20
令和3年 12月 19日	卓球	3障がい	29
計		84	

※前年度実績 44人 (2回)

(4) 派遣指導

実施日	実施内容	派遣場所	対象	人数
令和3年 7月 2日	ボッチャ・スラローム	松山市	中学校	54
令和3年 10月 7日	車椅子バスケット	鬼北町	小学生	14
令和3年 10月 28日	ボッチャ・スラローム・フライングディスク	松山市	小学生	66
計				134

※前年度実績 102人 (2回)

(5) 自主企画事業

ア ほほえみフェスタ（中止）

開催日	人数
中止	

※前年度実績 中止

イ ほほえみスポーツ大会

実施日	人数
令和3年 9月15日～10月13日	事業団施設利用者 258人
内容	
eスポーツ（ふよふよ）、射的 ラインボッチャ	

※前年度実績 267人

ウ 地域交流(文化教室)

実施日	実施内容	人数	実施日	実施内容	人数
令和3年 4月 8日	大人の音楽会	13	令和3年 10月 14日	ハロウィンオブジェ	11
令和3年 4月 15日	編み物	中止	令和3年 10月 21日	ヘリーバッグ	9
令和3年 4月 22日	フラワーアート	中止	令和3年 10月 28日	日傘作り	15
令和3年 5月 13日	一閑張り	中止	令和3年 11月 11日	大人の音楽会	7
令和3年 5月 20日	一閑張り	中止	令和3年 11月 18日	押し花	7
令和3年 5月 27日	一閑張り	中止	令和3年 11月 25日	クリスマスツリー	15
令和3年 6月 3日	大人の音楽会	10	令和3年 12月 2日	クリスマスオブジェ	8
令和3年 6月 10日	レジン細工	8	令和3年 12月 16日	帽子作り	6
令和3年 6月 17日	編み物	6	令和3年 12月 20日	生花お正月飾り	16
令和3年 6月 24日	多肉植物アート	7	令和4年 1月 6日	大人の音楽会	12
令和3年 7月 1日	一閑張り	15	令和4年 1月 13日	バルーンバッグ作り	中止
令和3年 7月 8日	一閑張り	15	令和4年 1月 20日	帽子作り	中止
令和3年 7月 15日	一閑張り	15	令和4年 1月 27日	バレンタインアレンジ	中止
令和3年 7月 29日	苔玉作り	16	令和4年 2月 3日	大人の音楽会	中止
令和3年 8月 5日	大人の音楽会	10	令和4年 2月 10日	がま口財布作り	中止
令和3年 8月 19日	ヘリーバッグ	中止	令和4年 2月 17日	帽子作り	中止
令和3年 8月 26日	フラワーアート	中止	令和4年 2月 24日	ひな祭りアレンジ	中止
令和3年 9月 2日	大人の音楽会	中止	令和4年 3月 3日	大人の音楽会	中止
令和3年 9月 9日	藍染	中止	令和4年 3月 10日	がま口財布作り	中止
令和3年 9月 16日	ヘリーバッグ	中止	令和4年 3月 17日	帽子作り	中止
令和3年 9月 30日	ハロウィンオブジェ	中止	令和4年 3月 24日	フラワーアート	中止
令和3年 10月 7日	ヘリーリュック	8			
計				229人 (21回)	

※前年度実績 315人 (33回)

エ 地域交流（県レク協会合同レク教室）

実施日	実施種目	対象	人数
令和3年 4月 13日	中止	/	/
令和3年 5月 11日	中止	/	/
令和3年 6月 8日	ラダーゲッター	3障がい、	11
令和3年 7月 13日	オーバルボール	/	14
令和3年 8月 10日	後出しじゃんけん他	/	8
令和3年 9月 14日	中止	/	/
令和3年 10月 19日	オーバルボール	3障がい	12
令和3年 11月 9日	ラダーゲッター	/	8
令和3年 12月 14日	トイレットペーパー引き	/	7
令和4年 1月 11日	ラダーゲッター	/	11
令和4年 2月 8日	中止	/	/
令和4年 3月 8日	中止	/	/
計			71

※前年度実績 143人 (9回)

オ 地域交流(障がい者スポーツ)

実施月	実施種目	対象	回数	人数
令和3年4月	ボッチャ・卓球・合同レク	3障がい	1	12
5月	中止	/	/	/
6月	ボッチャ・卓球・合同レク	3障がい	5	66
7月	ボッチャ・卓球・合同レク	/	4	57
8月	ボッチャ・卓球・合同レク	/	2	23
9月	中止	/	/	/
10月	ボッチャ・卓球・合同レク	3障がい	5	81
11月	ボッチャ・卓球・合同レク	/	5	95
12月	ボッチャ・卓球・合同レク	/	4	76
令和4年1月	ボッチャ・卓球・合同レク	/	2	21
2月	中止	/	/	/
3月	中止	/	/	/
計			28	431

※前年度実績 703人 (44回)

5 障がい者利用者数

月区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	人数計
相談室	10	1	5	9	3	1	4	4	3	4	4	4	52
診察室	24	18	21	16	27	13	29	23	18	10	6	24	229
訓練室	67	0	275	270	166	0	210	214	214	54	0	0	1,470
体育館	116	0	894	835	214	0	879	657	828	385	350	0	5,158
運動場	210	0	439	324	7	0	671	387	396	363	357	508	3,662
会議室	78	0	253	399	225	0	229	120	326	54	85	259	2,028
研修室	13	0	106	124	28	0	57	98	75	35	18	66	620
計	518	19	1,993	1,977	670	14	2,079	1,503	1,860	905	820	861	13,219

※前年度実績 17,979人

障がい者更生センター

障がいのある方や高齢者の「安全・安心・快適の空間で寛ぎたい」といった宿泊・保養ニーズに応えられるよう、建物の整備や良好な衛生環境、美観の維持に努めるとともに、職員の接客・調理技術の向上を図ることにより、地域に愛される「人に優しい公共の宿」としての施設づくりを目指して事業を行った。

令和3年度は、宿泊や飲食の利用がやや持ち直したもの、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置等の影響を受け、外来入浴を取り止めたことなどにより、昨年度に比べ、利用者数及び収入は減少した。

そのため、浴室床タイルの張替工事を実施し、利用者の転倒リスクの軽減を図るなど、利用環境を整備するとともに、昼食サービスの充実や県の「愛顔の安心飲食店」の認証を受け、利用促進に取り組み安定経営への一助となるよう努めた。

1 月別利用者数

() は回数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	障害者率
宿泊	91	35	126	204	197	60	292	285	268	194	46	323	2,121	62%
休憩	80	54	128	161	76	91	195	210	151	112	102	149	1,509	10%
大広間	47	14	191	172	71	44	157	127	239	0	62	87	1,211	5%
宴会	(38)	(26)	(67)	(81)	(38)	(37)	(70)	(88)	(120)	(46)	(43)	(51)	(705)	
	589	271	861	1,032	459	354	808	920	1,387	509	547	603	8,340	10%
入浴	459	0	1,071	1,182	868	0	1,183	1,350	1,661	1,548	796	1,547	11,665	24%
喫茶	305	16	981	1,139	503	0	1,177	921	862	789	707	706	8,106	10%
合計	1,571	390	3,358	3,890	2,174	549	3,812	3,813	4,568	3,152	2,260	3,415	32,952	18%
													※ 前年度実績	36,443
														19%

2 月別収入状況

(単位：円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
952,782	415,510	2,065,330	2,836,062	1,431,313	552,852
10月	11月	12月	1月	2月	3月
2,548,103	3,354,162	4,563,417	2,572,736	985,500	2,551,700
					合 計
					24,829,467

※前年度実績

25,309,543

3 項目別収入状況

(単位：円)

宿泊料	休憩料	大広間使用料	飲食料	宴会	
5,008,500	722,150	471,000	2,496,682	10,298,913	
奉仕料	入浴料	その他	喫茶使用料	自販機手数料	合 計
1,759,690	3,926,340	12,870	76,648	56,674	24,829,467

愛媛県視聴覚福祉センター

令和3年度は、元年度末から続く新型コロナウイルス感染拡大により、貸館業務の制限や各種事業の中止、縮小等など多大なる影響を受けたが、利用者の安全を第一に考えた感染防止対策を徹底しながら、できる限りの事業継続に努めた。

また、設備面においては、誘導灯取替及び非常灯照明の修繕など防災管理に係る工事のほか、一部不点灯となっていた庭園灯取替や和室照明のLED化など環境整備に係る工事を実施した。

更に、各種事業においては、集合形式で行っていた講習会をオンライン・DVD視聴等による在宅学習形式に変更して実施するとともに、センター文化祭については、視聴覚障がい者の演奏やサークル紹介、俳句・川柳入賞作品、講話等をホームページからWEB配信するなど、オンライン形式にて開催した。なお、視覚障がい者の生活訓練(6カ月)は、候補者の辞退により未実施となったが、生活技術向上訓練において支援を図った。

1 中途視覚障がい者生活訓練

- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| ○ 視覚障がい者の自立更生への相談 | 34件 |
| (生活訓練2、日常生活用具・補装具25、機器情報1、職業2、その他4) | |
| ○ 生活訓練(6カ月)の実施 | 0人(訓練日数 0日) |
| ○ 生活技術向上訓練(1日訓練)の実施 | 143回(143人) |
| ○ 体験入所 | 0回(0人) |
| ○ 視覚障がい者福祉地域講習会 | 2回(39人) |
| ○ 盲学校関係者対象研修会 | 1回(16人) |
| ○ 同行援護従業者養成研修 | 5回(34人) |
| ○ 視覚障がい福祉セミナー | 1回(39人) |
| ○ 視覚障がい者専門指導員連絡会議 | 1回(5人) |

2 点字図書館

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ○ 点字・録音図書の作成 | |
| 点字図書 91タイトル 292冊、録音図書(CD) 65枚 | |
| ○ 点字・録音図書の閲覧、貸出 | |
| 点字図書 2,521冊、録音図書(テープ) 2,444巻、録音図書(CD) 14,182枚 | |
| ○ 蔵書数 | |
| 点字図書 36,939冊、録音図書(テープ) 24,487巻、録音図書(CD) 6,243枚 | |
| ○ 利用登録者数 | 699人 |
| ○ 点字図書等製作協力者登録数 | 529人 |
| ○ プライベートサービス | 40件(点訳12件、聴読0件、音訳28件) |
| ○ 点字即時情報提供 | 48件(個人46、団体2) |
| ○ CD編集ボランティア養成講習会 | 6回(延54人) |
| ○ デイジー学習会 | 2回(2人) |
| ○ 点字図書館体験教室 | 1回(1人) |
| ○ 視覚障がい者用情報機器操作講習会 | 11回(11人) |
| ○ 視覚障がい者各種相談 | 13件 |
| ○ 点字広報等発行 | 県民だより 12回(4,499人)
愛媛のすがた 1回(24人) |
| ○ 点訳、音訳奉仕員養成講習 | 55回(点訳延102人、音訳延155人) |

3 点字出版施設

- | | |
|----------|-----------|
| ○ 点字出版物 | 32, 217部 |
| (自治体関係 | 4, 501部) |
| (個人、団体関係 | 27, 081部) |
| (月刊誌「新生」 | 635部) |

4 聴覚障がい者情報提供

- | | |
|------------------------|---|
| ○ 字幕(手話)入りDVDの作成 | DVD 16枚 |
| ○ 映像ライブラリー所蔵数 | ビデオ 1, 382本、DVD 1, 456枚 |
| ○ 字幕入りビデオテープ等の貸出数 | 28本 |
| ○ 利用登録者数 | 1, 344人 |
| ○ 情報機器の貸出回数 | OHP 0回、磁気ループ 1回
16件(情報提供13・生活2・その他1) |
| ○ 聴覚障がい者の相談 | 281回(965人) |
| ○ 手話通訳設置 | 6回(14人) |
| ○ パソコン要約筆記学習会 | 22回(119人) |
| ○ 手話通訳者ビデオ研修会 | 0回(0人) |
| ○ 手話通訳者現任研修会 | 0回(0人) |
| ○ 要約筆記者現任研修会 | 3回(9人) |
| ○ 盲ろう通訳介助者現任研修 | 1回(1人) |
| ○ ビデオ制作協力員講習会 | 1回(20人) |
| ○ 高齢難聴者等に対する耳と聞こえのセミナー | 9件 |
| ○ 聞こえと補聴器個別相談 | |

5 聴能訓練

- | | |
|------------------|-------------------------|
| ○ 聴能訓練の実施 | 年間登録児童数(訓練回数) 56人(420回) |
| ○ 新規訓練開始児童数 | 12人 |
| ○ 訓練修了児童へのフォロー人数 | 64人 |
| ○ 保護者講座 | 5回(53人) |
| ○ 聴覚障がい児地域支援サービス | 18回(18人) |
| ○ 子どもの聞こえセミナー | 1回(36人) |
| ○ 重複障がい児支援者情報交換会 | 0回(0人) |
| ○ 聴覚障がい児交流会 | 0回(0人) |

6 ボランティアの交流活動促進

- | | |
|--|----------|
| ○ 視聴覚ボランティアサークルふれあい学習会の開催(点訳、音訳、手話、要約筆記) | 7回(106人) |
| ○ ボランティア研修会の開催(視覚・聴覚) | 2回(62人) |
| ○ サポートボランティア講座 | 0回(0人) |
| ○ 視聴覚障がい者支援ボランティア体験講座 | 0回(0人) |

7 文化活動支援

- | | |
|-------------|-----------|
| ○ 視聴覚交流サロン | 7回(59人) |
| ○ 手話サロン | 22回(227人) |
| ○ 視聴覚文化祭の実施 | 1回オンライン開催 |

8 その他

- | | |
|----------------------|----------|
| ○ 視聴覚障がい者地域相談 | 0件(0人) |
| ○ 親子点字・手話体験教室 | 1回(18人) |
| ○ 視聴覚障がい者情報機器講習会 | 2回(31人) |
| ○ 障がい者にやさしい愛顔のまち連携事業 | 9回(314人) |

9 利用状況

- | | |
|--------|--------------------------|
| ○ 利用者数 | 9, 151人 (前年度実績 12, 082人) |
|--------|--------------------------|

・使用許可施設		() は障がい者利用数	
区分	利用回数	利用人数	
多目的ホール	156回 (131)	1,840人 (371)	
会議室	155回 (140)	1,411人 (193)	
研修室	62回 (55)	323人 (78)	
和室	86回 (79)	685人 (204)	
試写室	44回 (44)	216人 (11)	
太鼓練習室	441回 (441)	1,414人 (504)	
調理実習室	18回 (18)	63人 (28)	
ボランティアルーム	144回 (103)	767人 (145)	
合計	1,106回 (1,011)	6,719人 (1,534)	
※前年度実績	1,376回 (1,254)	8,905人 (1,868)	

・一般利用施設			
閲覧室	57回 (12)	120人 (12)	
聴読室	43回 (0)	43人 (0)	
録音・プリント室	1,329回 (0)	1,557人 (0)	
貸出利用室	667回 (168)	712人 (168)	
合計	2,096回 (180)	2,432人 (180)	
※前年度実績	2,802回 (241)	3,177人 (243)	

・所外サービス等 1,719人 (前年度実績 2,168人)

10 県からの受託事業

(手話通訳者養成事業)

市町が実施する手話奉仕員養成講習会の修了者を対象に行う、手話通訳の知識や表現技術を習得する講習会を、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、通訳ⅠはZoom等のオンライン学習に変更し、通訳Ⅲは密を回避して集合形式にて実施し、聴覚障がい者のコミュニケーションを支援する手話通訳者を養成することができた。また手話通訳者全国統一試験を県の手話通訳者登録試験として実施した。

- 受講者 通訳Ⅰ 17人 通訳Ⅲ 10人
- 実施回数 通訳Ⅰ 64回 (オンライン学習) 通訳Ⅲ 15回
- 手話通訳者登録試験 受験者 21人 (内合格者4人)

(要約筆記者養成事業)

要約筆記奉仕員養成講習会の修了者や初めて要約筆記を学ぶ者で将来要約筆記者としての活動を希望する者を対象とした講習会を、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施方式をDVD視聴等による在宅学習形式に一部変更して実施し、聴覚障がい者の多様なニーズに対応できる要約筆記者を養成することができた。また全国統一要約筆記者認定試験を県の要約筆記者登録試験として実施した。

- 受講者 9人
- 実施回数 62回 (一部DVD学習)
- 要約筆記者登録試験 受験者 9人 (内合格者2人)

(視覚障がい者用選挙公報等作成)

1件

えひめ障がい者就業・生活支援センター

就職や職場定着が困難な障がい者等に対し、様々な関係機関との連携の下、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行った。

特に、相談支援回数13,100回以上、一般就職者数107人及びA型事業所就職者数59人を達成するなど、地域における就労支援の拠点として、就業面や生活面での一体的な支援を行い、障がい者の職業生活における自立に繋げた。

また、新型コロナ下においても、感染防止対策の徹底に努めながら、圏域内の就労支援機関等に研修会を開催し、障がい者雇用に関して広く理解・促進を図った。

1 利用状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
新規相談受付者	障がい種別	肢 体	4	2	2	1	0	1	3	1	0	0	1	5	20
		聴 覚	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	5
		視 覚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		内 部	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4
		うち重度	4	0	1	2	0	1	0	1	0	0	0	3	12
		計	5	2	2	2	0	2	4	2	0	0	1	9	29
		知 的	17	3	2	2	7	3	1	0	4	6	4	22	71
		うち重度	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
		計	17	3	2	2	7	3	1	0	4	6	4	22	71
		精 神	6	4	7	6	3	4	7	6	6	17	5	8	79
		うち重度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	6	4	7	6	3	4	7	6	6	17	5	8	79
		そ の 他	2	1	1	1	6	3	1	2	1	2	0	0	20
		合計	30	10	12	11	16	12	13	10	11	25	10	39	199
	年齢別	20歳未満	17	2	0	0	6	1	0	0	1	4	2	22	55
		20代	5	3	3	6	4	7	4	1	2	5	3	5	48
		30代	0	2	5	3	2	0	3	3	3	6	3	6	36
		40代	5	2	3	0	2	2	2	4	4	5	1	3	33
		50代	1	1	1	2	1	2	3	2	1	5	1	2	22
		60歳以上	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	5
		合計	30	10	12	11	16	12	13	10	11	25	10	39	199
	性別	男	12	5	10	4	12	7	10	7	6	15	5	27	120
		女	18	5	2	7	4	5	3	3	5	10	5	12	79
		合計	30	10	12	11	16	12	13	10	11	25	10	39	199

支援実施状況	場所別	電 話	844	633	705	556	634	640	581	607	537	534	462	536	7,269
		来 所	146	103	189	166	152	165	157	201	199	135	158	185	1,956
		企業訪問	156	135	256	275	220	220	228	183	260	171	175	248	2,527
		家庭訪問	7	3	10	10	22	14	11	12	12	7	7	18	133
		そ の 他	67	93	98	61	105	114	97	143	105	165	120	130	1,298
		合計	1,220	967	1,258	1,068	1,133	1,153	1,074	1,146	1,113	1,012	922	1,117	13,183
支援実施状況	内容別	就 職	727	495	652	535	593	565	515	570	571	519	431	504	6,677
		職場定着	267	155	261	187	210	253	187	150	212	186	184	222	2,474
		生 活	141	186	222	188	211	227	214	231	165	146	136	179	2,246
		就業・生活	26	7	34	38	34	31	34	30	29	22	26	38	349
		企 業	2	0	2	0	1	0	2	0	0	1	1	0	9
		そ の 他	57	124	87	120	84	77	122	165	136	138	144	174	1,428
		合計	1,220	967	1,258	1,068	1,133	1,153	1,074	1,146	1,113	1,012	922	1,117	13,183
訓練等	訓練等	基礎訓練	2	1	3	1	2	0	0	4	2	3	2	0	20
		職業評価	2	1	1	2	1	1	1	0	3	4	0	0	16
		職業準備訓練	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
		職場実習あっせん	5	4	2	4	4	3	6	8	5	7	15	3	66
		合計	9	6	6	8	7	4	7	12	10	14	18	3	104
		就 職 (一般)	33	10	5	8	4	11	4	6	6	7	4	9	107
		就 職 (A型)	12	3	4	5	3	5	7	5	5	5	1	4	59

2 国からの事業

(S S T等を活用したグループワークによる精神障がい者等への先進的な職場定着支援事業)

精神・発達障がい者の障がい特性に応じた課題解決方法の習得等を支援し、効果的な職場定着を図るため、在職中の者を定期的に集め、S S T（社会生活技能訓練）を活用したグループワークの中でロールプレイや意見交換を行いながら、職場で必要となる対人コミュニケーションスキルの獲得を図る取組みを実施した。

(障がいが窺われる生活困窮者等への支援)

障がいが窺われる生活困窮者等を対象に、自立相談支援機関や福祉事務所との連携のもと相談・助言や支援プラン策定の場への同席、就労体験等の受入企業への助言や訓練への同行を行ったほか、当センターが持つノウハウを他の就労支援機関等へ伝達するため、研修会を開催した。

3 県からの受託事業

(障がい者一般就労移行等促進事業)

障がい者の就労支援を効果的に推進するため、愛媛県全圏域版の就労系事業所に関する情報誌をホームページ上で閲覧できるようにw e b化し、事業所情報の拡充・更新を行い、関係機関等との連携強化、最新情報の共有化に努めた。また、支援センター主催で就労支援機関及び企業の支援者を対象に、精神障がい者や発達障がい者のアセスメント様式の情報共有や事例検討をグループワークで実施し、当事者の特性の理解を深めるセミナーを開催した。

(障がい者マッチング支援事業)

企業開拓員1名を配置し、障がい者の職場見学、実習及び就労先となる受入企業を開拓するとともに、就業を希望する障がい者と企業とのマッチングを就業支援員と共同で支援するなど、企業への障がい者雇用に対する理解促進を図った。また、中予地域において、企業の人事担当者等を対象に、障がい者雇用に積極的に取り組んでいる企業の職場見学会及び交流会を開催した。

愛媛県障がい者スポーツ協会事務局

令和3年度は、新型コロナ禍の中でも事業実施できるよう、規模を縮小等の感染対策を講じながら、えひめパラスボ記録会の一部を開催するとともに、スポーツ講習や5名の障がい者スポーツコーディネーターの活動などの諸事業を実施した。

また、継続して支援してきた県内のパラアスリートから、4名の選手が東京パラリンピックの出場を果たした。

1 総会の開催

- (1) 「愛媛県ボッチャ協会」の愛媛県障がい者スポーツ協会正会員入会に関する臨時総会
令和3年4月 書面にて開催
 - ・ 全員承認により、「愛媛県ボッチャ協会」が正会員として入会した。
- (2) 第1回定期総会 令和3年6月18日(金)
 - ・ 令和2年度事業報告・収支決算を審議し、原案のとおり承認された。
- (3) 第2回定期総会 令和4年3月18日(金) 書面にて開催
 - ・ 令和3年度補正予算、令和4年度事業計画・収支予算を審議し、原案のとおり承認された。
- (4) 監査 令和3年6月9日(水)

2 実施事業

- (1) 障がい者スポーツ振興事業
 - ア 令和3年度えひめパラスボ記録会
 - ・ 陸上、卓球、フライングディスク、アーチェリー、精神障がい者バレーボール
※ 新型コロナ感染症感染状況を鑑み中止
 - ・ ボウリング競技の実施 令和3年6月12日(土) キスケKIT 参加者：35名
 - ・ ボッチャ競技の実施 令和3年6月12日(土) しおさい公園アリーナ 参加者：32名
 - ・ 水泳競技の実施 令和3年7月3日(土) アクアパレットまつやま 参加者：104名
 - イ 第21回全国障害者スポーツ大会派遣事業の実施
 - ・ ユニフォーム合わせ及び事前説明会の実施 令和3年8月7日(土)
主催者(三重県)が、新型コロナウイルス感染症感染状況を鑑み、大会開催を中止したことにより、事業を中止
 - ウ 障がい者スポーツ講習事業の実施
 - ・ 令和3年6月5日(土)～令和4年1月9日(日) 愛媛県身体障がい者福祉センター
 - ・ 実施競技：卓球、バスケットボール、バレーボール、サッカー(各種目4回 計9回)
 - ・ 受講者：延べ173名
 - エ 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会
※新型コロナ感染症感染状況を鑑み中止
 - オ 第21回全国障害者スポーツ大会ソフトボール競技 中四国ブロック予選会
※新型コロナ感染症感染状況を鑑み中止
 - カ 本県パラアスリートに対する顕彰の実施
 - ・ パラリンピック出場選手に対し、空港での見送り、出迎え及び横断幕の設置
 - ・ デフリンピックに出場が決まった選手に対し、横断幕の設置
- (2) パラアスリート支援事業

パラスポーツコーディネーターの設置(幸田裕司氏) 令和3年9月に事業終了(パラリンピック開催までの事業であったため)

 - ・ 主な活動：トップアスリートや競技団体のニーズ調査や、情報収集
- (3) タンデム等サイクリング体験普及事業(津賀薰氏)
 - ア タンデムアドバイザーの設置
 - ・ 主な活動：タンデム自転車等の普及啓発及び、障がい者の自立支援を目的とし、体験会等を実施した。(月3回程度活動)

- イ 愛媛県障がい者サイクリング大会の実施
- ・ 令和3年11月28日（日）しまなみ海道・来島海峡大橋 参加者：124名
- (4) 障がい者スポーツ地域コーディネーター設置事業
- (東予：大西美穂氏、中予：長山也寸志氏、南予：西田千景氏)
 - ・ 主な活動：東中南予の各特別支援学校や福祉施設を地域の活動拠点として位置づけ、地域の障がい者が身近でスポーツを楽しめる体験交流会等を開催した。
- (5) パラアスリート支援補助金事業の実施
- ・ 実施目的：2020 東京パラリンピックへの出場が決まったトップアスリート及び次期パラリンピック及びデフリンピック出場を目指すアスリートの活動支援を行う。
- ア トップアスリート区分：4名（柔道2名、水泳1名、アーチェリー1名）
- 東京2020パラリンピックに出場する選手
 - ・ 補助金：対象者1人当たり上限600千円/年
 - ・ 山口尚秀（水泳） 100m平泳ぎ SB14 金メダル（世界新記録）
 - ・ 廣瀬順子（柔道） 女子 57kg級 5位入賞
 - ・ 廣瀬悠（柔道） 男子 90kg級 7位入賞
 - ・ 永野美穂（アーチェリー） 初戦敗退
- イ アスリート区分：15名
- 次期パラリンピック及びデフリンピック出場を目指す選手
 - ・ 補助金：対象者1人当たり200千円/年
 - ・ デフリンピックバレーボール日本代表に狩野拓也、栗林愛美の2名が内定
- (6) ボッチャ競技普及活動支援事業
- ア ボッチャサポーター養成講習会の開催
- ・ 令和3年12月4日（土）5日（日）受講者：合計39名
 - ・ 日本ボッチャ協会公認の講習会を2回実施。
- イ ボッチャサポーター地域普及事業
- ・ 新型コロナウイルス対策を講じて16回実施した。
- ウ ボッチャ競技審判員等養成講習会派遣事業
- ・ 2021年度全国障害者スポーツ大会審判養成講習会（オンライン）
愛媛県ボッチャ協会会員5名の派遣
- エ ふれあい県民ボッチャ大会の開催
- ・ 令和3年12月4日（土）参加者：143名
障がいの有無、年齢問わず、すべての人が一緒になって楽しめるボッチャ大会を県内で初めて開催。
- (9) 障がい者スポーツ協会運営事業
- ア ホームページの充実、協会だより等による情報発信
- ・ ホームページでイベントの紹介や大会等のお知らせを掲載し、随時更新した。
- イ 寄付金の執行
- ・ FC今治インクルーシブサッカープロジェクト supported by 三菱商事様から寄付があり、サッカーに関連したブラインドサッカー競技用アイマスク8個、ポータブル得点板2個、ボールカゴ1個、充電式空気入れ1個を購入した。

愛媛県障がい者アートサポートセンター

1 事業の目的

芸術文化活動を行う障がい者本人やその家族、障害福祉サービス事業所や支援団体等に対する支援を総合的に行う地域の拠点として、障がい者等からの相談に対する適切な助言や芸術文化活動を支える人材の育成を行い支援体制の充実を図るとともに、芸術文化活動の発表の機会として「障がい者芸術文化祭」を開催することにより、障がい者の芸術文化活動の更なる振興を図った。

2 実施内容

(1) 事業所等に対する相談支援に関すること

支援方法や創造環境の整備、権利の保護、鑑賞支援、作品の販売等に関する事業所等からの相談を受け付け、関係機関の紹介や専門的知見に基づく技術的支援を行った。

[相談対応状況]

相談件数：33 件、相談回数：84 回

【属性】

【分野】

【内容】

項目	件数	回数
1 障害者当事者	4	6
2 家族	10	26
3 障害福祉関係者	3	13
4 文化施設	0	0
5 芸術家	1	2
6 市民団体	0	0
7 教育関係者	2	4
8 医療機関	0	0
9 自治体	3	8
10 その他	10	25
合計	33	84

項目	件数	回数
1 美術	27	66
2 文化	0	0
3 音楽	0	0
4 演劇	0	0
5 舞踊	0	0
6 その他	6	18
7 分類できな いもの	0	0
合計	33	84

項目	件数	回数
1 鑑賞	0	0
2 創造	9	16
3 発表	4	7
4 交流・連携	1	1
5 調査研究・保存	0	0
6 権利保護	6	16
7 人材育成	2	5
8 情報発信	2	7
9 その他	9	32
合計	33	84

(2) 芸術文化活動を支援する人材の育成等

① 研修会の開催

事業所等で芸術文化活動を支援する者等に対して、創作活動や表現活動の支援方法、作品展示の方法に関する研修を実施した。

〔実施状況〕

開催日	研修内容	参加者数
令和3年 11月9日（火）	中津川 浩章 氏 講演会 「障がい者アートの可能性」	42名
令和3年 11月27日（土） 28日（日）	障がい者芸術文化祭～愛顔ひろがるえひめ の障がい者アート展～作品展示研修 〔講師：アートコーディネーター 和泉 明子 氏〕	9名 (延人数)

② 指導者の派遣

障がいのある方や事業所等に、芸術文化に造詣の深い外部指導者を派遣し、ダンスや音楽、絵画などの取組みについて専門的な指導を行うことにより、裾野の拡大や活動のブラッシュアップを図った。

●応募数 6団体（事業所4団体、放課後等デイサービス2団体）、個人4者

●実施数 4団体（事業所4団体）、個人4者

●実施内訳 （各3回実施）

舞台分野 2団体（事業所2団体）

美術分野 2団体（事業所2団体）、個人4者（県身体障がい者福祉センターにおいて合同で実施。）

※舞台分野の内、1団体は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

放課後等デイサービス団体については、指導者との調整ができなかつたため、実施を見送った。

（3）商品化支援事業

障がいのある方の自立や社会参加の促進を図るため、協賛企業の協力の下「障がい者アートデザインコンペ」を実施した。障がい者とデザイナーがチームを組みアイデアを創出し、協賛企業に採択されたアイデアは、ブラッシュアップを行い、実際に商品化して販売された。

① テーマ

・タオル部門：タオル商品のデザイン

・クッキー部門：オリジナルクッキーのブランディング

② 参加者

●協賛企業

・タオル部門：今治タオル工業組合3社

　　大磯タオル（株）、コンテックス（株）、（株）ハートウェル

・クッキー部門：（有）ラポール

●アーティスト：35名（いずれかの部門に参加）

●デザイナー：10名（アーティスト複数及びテーマ2部門を担当）

※タオル部門 18チーム、クッキー部門 17チーム

③ 日程

ア 参加者募集：令和3年5月6日（木）～5月31日（月）

イ 参加者説明会

　期日：令和3年6月8日（火）13：20～15：00

　場所：県身体障がい者福祉センター

ウ ワークショップ

　期日：令和3年6月14日（月）10：00～16：00

　　（タオル部門 10：00～12：00、クッキー部門 14：00～16：00）

　場所：県身体障がい者福祉センター

エ プレゼンテーション

　期日：令和3年7月5日（月）9：00～17：00

　　（クッキー部門 9：00～12：30、タオル部門 13：00～17：00）

　場所：県身体障がい者福祉センター

オ 知事報告会、表彰式（最優秀賞のみ）

期日：令和3年10月22日（金）11：00～11：30

場所：愛媛県庁 知事会議室

力 審査員特別賞 表彰式

期日：受賞者の都合に合わせて実施。

場所：県身体障がい者福祉センター、受賞者所属事業所

④ 賞

●最優秀賞・・・・4デザイン（タオル部門3、クッキー部門1）（商品化）

●審査員特別賞・・・5デザイン（タオル部門3、クッキー部門2）（賞金2万円）

（4）情報収集・発信

展示会や公演など県内の芸術文化活動の情報を収集・発信するとともに、ブロック及び全国レベルの支援センターと連携し、国内外の情報収集・発信を行った。

〔取組状況〕

① 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団のホームページ内「愛媛県障がい者アートサポートセンター」のページで、公募展や展示会などのイベント情報を掲載

78件（自主事業29件、作品展21件、公募8件、イベント案内5件、研修5件、その他10件）（令和4年3月31日現在）

② 障がいのある方の作品をセンター内及びぱれっと道後花楽里に展示し、発表の場とともに、来館者等に障がいのある人のアート作品を鑑賞する機会を提供

展示回数：7回（福祉事業所1者、個人5者、愛顔ひろがるえひめの障がい者アート展入選作品巡回展）

※センター、ぱれっと道後 花楽里は同時開催。

③ 作品展、イベント等の後援依頼への対応

後援回数：1件（個人1者）

④ ブロック及び全国レベルの支援センターとの連携及び情報収集

●障害者芸術文化活動普及支援事業 第1回全国連絡会議（Web）

日時：令和3年10月18日（月）13：15～15：00（後日試聴）

●障害者芸術文化活動普及支援事業 第2回全国連絡会議（Web）

日時：令和3年12月23日（木）10：00～12：00（後日試聴）

●障害者芸術文化活動普及支援事業 第1回中国・四国ブロック研修会・会議（Web）

日時：令和3年8月3日（火）10：00～12：00

●障害者芸術文化活動普及支援事業 第2回中国・四国ブロック研修会・会議（Web）

日時：令和3年11月8日（月）13：00～14：30（後日資料確認）

●障害者芸術文化活動普及支援事業 第3回中国・四国ブロック研修会・会議（Web）

日時：令和4年3月14日（月）10：00～15：00

（5）障がい者芸術文化祭の開催

① 障がい者芸術文化祭～こころ集まれ2021～

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため開催中止

ア 開催期間 令和3年10月9日（土）10：00～16：00

イ 開催場所 松山大街道商店街アーケード内

ウ 開催内容（参加申込）

●ステージ発表（2者）

- ・障がい者等による歌唱、楽器演奏のステージ発表
- アート作品展示（5者）
 - ・絵画や立体作品、手芸、工芸品等の展示
- ライブアートパフォーマンス（1者）
- アート体験（3者）
- 商品販売（16者）
 - ・手作り雑貨、加工食品、農産物等の販売

上記イベントは中止したが、代替えとして、ステージ発表の動画（5者）を制作し、YouTubeで配信するとともに、「障がい者アートデザインコンペ」で商品化された商品が当たるプレゼント企画を実施した。

※YouTube 再生回数2,539回（令和4年3月31日現在）

② 障がい者芸術文化祭～愛顔ひろがる えひめの障がい者アート展～

ア 開催期間 令和3年12月2日（木）～12月12日（日）（計10日間）

※7日は休館日のため除く

イ 開催場所 愛媛県美術館 新館2階 特別展示室

ウ 作品募集 期間：令和3年9月21日（火）～10月22日（金）

部門：絵画、書道、陶芸、その他立体作品の4部門

エ 表彰 15名（特選1名、優秀賞3名、佳作（企業賞）10名、観客賞1名）

企業賞：伊予銀行、（株）伊予鉄高島屋、（株）エイトワン、（株）愛媛銀行、JA愛媛県信連、愛媛信用金庫、えひめ洋紙（株）、伯方塩業（株）、（株）フジ、（株）松山三越

●日 時 令和3年12月2日（木）11:00～

●場 所 愛媛県美術館 新館 講堂

●出席者 特選及び優秀賞、佳作（企業賞）受賞者に賞状と副賞を授与

オ 作品展示 357点（応募のあった全作品を展示）

カ 来場者 2,296名

キ 観客賞 1点（来場者による投票で観客賞を決定。）

総投票数 5,834票（1人3票まで投票可）

ク 巡回展示 入選作品15点を東予・中予・南予の各会場に展示

●中予会場：令和3年12月17日（金）～24日（金）伊予市役所

令和4年2月18日（金）～3月7日（月）県身体障がい者福祉センター

●東予会場：令和4年1月22日（土）～2月3日（木）あかがねミュージアム

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止。

令和4年2月5日（土）～16日（水）テクスポート今治

●南予会場：令和4年1月12日（水）～19日（水）八幡浜市美術館